

第2クォーターの授業について

学生の皆さまへ

新型コロナウイルス感染症の拡大を回避するため、第1クォーターでは全ての科目・研究をオンライン授業で行ってきましたが、その後の状況により第2クォーターでは、初年次セミナー、学部専門教育の実験・実習・卒業研究、及び大学院の研究について、下記の【実施の条件】をすべて満たす場合に限り、対面方式による実施が可能となりました。

条件を1つでも満たしていない場合は、当該科目を対面で受けることはできなくなりますので、【実施の条件】にはしっかりと目を通し、各自できちんと理解してください。具体的な実施方法等については、担当教員または指導教員の指示に従ってください。

なお、講義・演習科目については第2クォーターも引き続きオンライン授業で実施します。また、重症化のリスクが高い対象者との接触を伴う実習については、下記の【医療実習の実施条件】をすべて満たした上で、最高学年より徐々に開始していく予定です。

※現在、長崎県外で自宅待機中の方は、担当教員または指導教員に確認した上で移動を開始してください。

【実施の条件】

- 1) 感染予防対策を講じた上で三密（密閉、密集、密接）を避けること
 - a) 窓やドアの全開（二方角の開放厳守）
 - b) 学生の人数は研究室の床面積の@4 m²(1人当たり4 m²確保できる人数)
 - c) その他：人と人との間隔を2 m維持、必要最低限の会話・実験・研究、議論や質問等はオンラインで実施。但し、細胞培養室やP1・P2実験室等の実験環境上、無理な実験室での全開は除外する
- 2) 長崎県外及び海外から長崎に来て2週間経過していること
- 3) 実験・実習・研究の期間中に県外に移動しないこと
- 4) 県外からの訪問者との面会や会合をしないこと
- 5) 学生の体調管理を行い、感染症状がないことを健康状態確認シートで確認できること
もし、風邪症状や味覚・嗅覚異常などの体調不良が継続した場合は、速やかに保健・医療推進センターに連絡し、唾液 PCR 検査を受けること
- 6) 授業担当教員、指導教員及び受講学生は、本学が指定する「感染防御」に関する教育を予めe-learningにて受講すること（※1）
ex.) マスク着用、手洗い、消毒、咳エチケット等

（※1）＜感染防御教育の実施方法＞

- ・全ての学生が受講対象者となります。
- ・受講方法は、LACSでの受講となります。
- ・受講内容については、LACSコミュニティー覧の「感染防御教育」を選択し、その中

の「コンテンツ」に掲載しています。

- ・「連絡事項」(長崎大学 感染防御教育「新型コロナウイルス感染症の対策」について)を確認頂き、「コンテンツ」の中に表示されるビデオを視聴のうえ、「受講確認」を回答することにより、受講完了となります。

【医療実習の実施条件】

- 1) 感染予防対策を講じた上で可能な限り三密(密閉, 密集, 密接)を避けること
また実習前2週間においても三密の回避が守られていること
ex.) 窓やドアの全開、必要最低限の会話、複数名での飲食・飲み会等への参加禁止など
- 2) 長崎県外及び海外から長崎に来て2週間経過していること
- 3) 実習中に県外に移動しないこと
- 4) 県外からの訪問者との面会や会合をしないこと
- 5) 学生の体調管理を行い、感染症状がないことを健康状態確認シートで確認できること
もし、風邪症状や味覚・嗅覚異常などの体調不良が継続した場合は、速やかに保健・医療推進センターに連絡し、唾液PCR検査を受けること
- 6) 授業担当教員、指導教員及び受講学生は、本学が指定する「感染防御」に関する教育を予めe-learningにて受講すること
ex.) マスク着用、手洗い、消毒、咳エチケット等
- 7) COVID-19に関する不適切な情報の拡散が危惧されることから、受講学生に「守秘義務」の徹底について改めて指導を行うこと